

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	男女共同参画啓発関係事業			事業番号	007-047
担当部署名	市民人権	局	ダイバーシティ推進	部	ダイバーシティ企画

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(8) 女性活躍・働く意欲がある多様な人材の活躍
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③女性が活躍できる社会の実現		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関係計画	有・無	ゴール	ゴール(5)ジェンダー平等を実現しよう	ターゲット	5.1	
		有	取組	男女共同参画に関する啓発			
3	事業開始年度	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	・第5期さかい男女共同参画プラン【計画年度：令和4年度から令和8年度】					
3	事業開始年度	令和 3 年度	点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全市民 (約81万人)、事業所 (約3万事業所)、市職員 (約5,000人) 等	対象数	—		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	男女共同参画社会の実現に向け、啓発冊子の発行や記念講演・課題別ワークショップ・研修の開催等により、ジェンダーに敏感な意識を醸成し、地域における男女共同参画をより一層推進する。また、DV・デートDV・性暴力被害等に関して正しく理解し、暴力の被害者にも加害者にもならないための意識啓発を行い、暴力のない社会の実現を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画推進課だより (Windy) の発行 ○男女共同参画社会の実現に向けて、講演会、課題別ワークショップ、ブックフェア等を実施する「さかい男女共同参画週間」の開催 ○堺市内の小学校・中学校・高等学校・大学・専門学校を対象に、専門知識を持つ講師を派遣し、DV・デートDV・性暴力をテーマとする「デートDV等予防出張セミナー」を実施 ○『女性の権利及び国際平和のための日』として国連が定めた記念日である「国際女性デー (3月8日)」に合わせて市ホームページ上での啓発を実施 ○地域における男女共同参画をより一層推進するため、市民団体などが開催する男女共同参画の学習会などに講師を派遣し、講師謝礼の一部を市が負担する「男女共同参画推進講師派遣事業」を実施 ○ジェンダーを正しく理解し、敏感な視点を持ち、地域において男女共同参画を推進する人材を養成する「男女共同参画リーダー養成講座」を実施 ○子ども虐待防止と女性への暴力根絶に向けた各種啓発活動を行う「オレンジ&パープルリボンキャンペーン」を実施 ○大阪公立大学の学園祭にてオレンジ&パープルリボン、セーフティさかいはのパネル展を実施 				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	デートDV等予防出張セミナー参加者理解度	%	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	98	98	100	100
			実績値	98	98		
達成率	100%	100%					
当該指標を選定した理由		暴力の被害者にも加害者にもならないという意識の醸成を行い、理解を深めることで、ジェンダーに一因があるとされる暴力を防止し、男女共同参画社会の実現を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		本講座のアンケートで、「よくわかった」「少しわかった (わりとわかった)」と回答した人の割合。令和5年度は参加者全員に理解してもらうことをめざすために設定。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	デートDV等予防出張セミナー参加者数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	1,000	1,200	1,600	
			実績値	1,290	1,468		
達成率	129%	122%					
当該指標を選定した理由		DV、デートDV等を正しく理解し、1人でも多くの若年層に予防啓発を行うため。					
目標値の設定根拠・算出方法		出張セミナーを受講した人数。令和5年度は新型コロナウイルス感染症による影響も考慮の上、令和元年度の参加者数の60%を想定。					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	男女共同参画啓発関係事業	事業番号	007-047
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	1,963	1,560	3,007	2,056	2,910
13 財源内訳					
国支出金	684	623	1,566	1,017	1,467
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 ()			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	1,279	937	1,441	1,039	1,443
14 人件費 (b)	7,380	9,840	9,840	9,840	12,687
15 年間経費(c)=(a)+(b)	9,343	11,400	12,847	11,896	15,597

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源			
								R4	決算	R4
16 事業費内訳	さかい男女共同参画週間/リーダー養成講座	R4	決算	919	439	印刷製本費	R4	決算	228	198
		R5	予算	1,250	484		R5	予算	188	36
	デートDV等出張セミナー	R4	決算	367	111	通信運搬費	R4	決算	15	15
		R5	予算	927	475		R5	予算	30	30
	謝礼金	R4	決算	160	92	電子広報等作成業務等	R4	決算	0	0
		R5	予算	191	124		R5	予算	60	60
	費用弁償 (その他)	R4	決算	16	16	備品購入費	R4	決算	0	0
		R5	予算	0	0		R5	予算	100	100
	消耗品費	R4	決算	25	25	その他保険料等	R4	決算	326	143
		R5	予算	67	67		R5	予算	97	67

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① デートDV等予防出張セミナー参加者数	人	1,290	1,468
② 上記①にかかる年間経費	千円	685	743
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	531	506

備考 (算出についての説明等) 経費は (人件費 + 講師謝礼金等) で算出。

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 デートDV等予防出張セミナーについて、令和4年度は、令和3年度と比べて新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなったことで参加者数が増加し、参加者1人に係る単位当たり経費は前年度より減少したと考えられる。講座を受講してもらった生徒に対して、被害者にも加害者にもならないという当事者意識を高める啓発を効果的に行うことができた。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 以下の取組により「ゴール (5) ジェンダー平等を実現しよう」に寄与していると考えます。
 啓発冊子や講演会・講座等のアンケートでは「関心や理解が深まった」と読者、参加者の多くが回答しており、啓発などを通して基本的な知識を学び、実践を積む等により、地域で男女共同参画を推進する人材の養成につながった。
 また、講座については、動画配信といった集合型以外の形態でも実施するなど、実施手法を工夫することで、参加者増加に繋がり啓発を行うことができた。
 さらに、パネル展や各種イベントなど様々な機会を捉え、市民に男女共同参画に関する啓発・意識醸成を図り、SNSや広報さかいを通して多くの市民に啓発や情報発信を行うことができた。
 これらにより、市民に対し、DV・デートDV等の暴力の予防啓発をはじめとする男女共同参画に関する意識啓発を行うことができた。